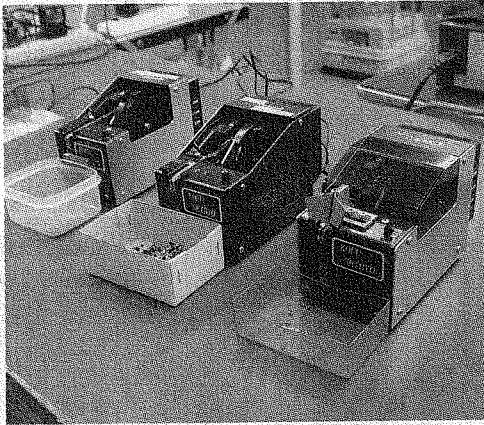


2006年(平成18年) 3月31日 金曜日

甲府精鋳「精密小ねじ供給機」

直径1ミリ以下に機種拡大



甲府精鋳が開発・製造している精密小ねじ供給機「マイクロネジナー」

ねじメーカーの甲府精鋳(中巨摩郡昭和町築地新居、山本武彦社長)は、携帯電話などの製造時に使う精密小ねじ供給機「マイクロネジナー」の種類を増やし、生産体制を強化している。構造がシンプルで小型軽量なことからニーズが高く、供給先の要望に応える形で、1ミリ以下の極小サイズのねじやクリーンルームへの対応機なども製造している。

デジタルカメラや携帯製造向け 需要増で生産強化

デジタルカメラや携帯電話やデジタルカメラなどの製造時に部品として用いる極小のねじに対応する装置で、ねじを一列に並べて自動的に二つ二つ送り出すことが

小型なのも特徴。

同社によると、携帯電話などの組み立て現場では現在、製品組み立ての大半を一人から数人の従業員が手掛ける生産方式「セル生産」が主流。複数の種類のねじを使うこ

とも多く、使用する装置も使い勝手のよい小型品が求められることから、マイクロネジナーのニーズは高いという。

同社では発売当初、胴体部分の直径が1ミリのねじから対応していたが、現在は0.6ミリ用から供給するなど対応範囲を広げている。

また構造がシンプルなことから部品同士のこすれが少なく、ごみやちりなどの発生量も軽微。そのため大手電機メーカーからクリーンルーム対応

機の供給依頼もきているという。